

令和2年度学校評価にもとづく改善点のまとめ

滋賀県立河瀬高等学校

学校経営について

- ・中高一貫教育校としての特徴を生かして取組んでいる内容をHPや学校案内により広報に努める。

学習指導

- ・公開授業を充実させ、常に授業改善に努める。
- ・シラバスに基づいて自学を行うよう指導し、自主的に学ぶ姿勢を養成する。
- ・学びの変革の取組を充実させ、授業改善を図る。

生徒指導

- ・基本的な生活習慣の確立をめざし生徒自身が主体的に動けるような指導を心がけ、問題行動の減少に努める。
- ・SNSに対する研修を保護者にさらに周知し、参加を求める。

進路指導

- ・様々な経験をとおして、自らが進路を開拓できる力を養成する。
- ・自主学习教室等を活用し、全教職員でキャリア教育を推進する。

特別活動等

- ・中・高一体化した部活動の在り方を考える。
- ・中・高一貫教育校を意識した行事（文化祭・体育祭・ボランティア活動等）の活性化を図る。

学校図書館

- ・図書館利用がさらに進むよう工夫する。
- ・読書指導をさらに推進する。

保健・安全指導

- ・スクールカウンセラーを効果的に活用するとともに、支援を要する生徒の情報交換会やケース会議をもとに、教育支援委員会を中心に支援方針の立案を行う。
- ・スクールソーシャルワーカーを効果的に活用し、様々な機関と連携を深めつつ支援の方向を探る。

人権教育

- ・差別やいじめを許さない学習環境の醸成を図る。
- ・人権統一LHRを充実させ、自己肯定感の育成、他者理解の推進を図る。

環境教育

- ・カリキュラムマネジメントに基づき、教科を通じての環境学習を積極的に行う。
- ・日常の清掃活動やボランティア活動を充実したものにする。

事務・管理

- ・中高一貫教育校に相応しい機器の導入に努める。

その他

- ・保護者への連絡機能を十分に活用し、学校情報の積極的な発信に努める。